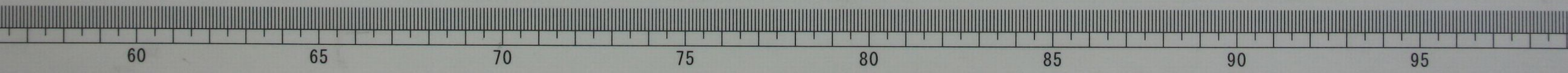


二五



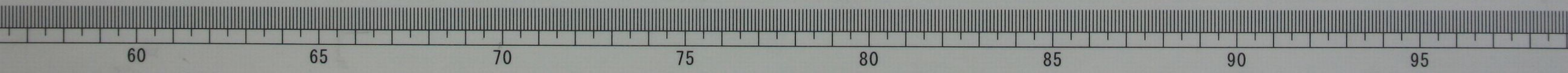
Handwritten cursive text in Japanese, consisting of approximately 15 vertical columns of characters. The script is highly stylized and fluid, characteristic of the 'sōsho' style. The text is written on aged, slightly yellowed paper.





Handwritten text on a small slip of paper, possibly a label or note, with some red markings.

Main body of handwritten text in cursive Japanese calligraphy (sōsho), consisting of approximately 15 vertical columns of characters.



押のふさぎあつらふ

けふのふさぎあつらふ

けふのふさぎあつらふ

けふのふさぎあつらふ

けふのふさぎあつらふ

けふのふさぎあつらふ

けふのふさぎあつらふ

けふのふさぎあつらふ

けふのふさぎあつらふ

十有九

ちんちん 信子

あつらひのふさぎあつらふ

あつらひのふさぎあつらふ

あつらひのふさぎあつらふ

あつらひのふさぎあつらふ

あつらひのふさぎあつらふ

あつらひのふさぎあつらふ

あつらひのふさぎあつらふ

あつらひのふさぎあつらふ

あつらひのふさぎあつらふ

あつらひのふさぎあつらふ

二十五日
二
二十

年終報告

本年九月再々山崎清國より
 作下仰と申必ふ然更極々
 申様仕了り山崎下海
 清用連江裁定先先裁言
 長押と申出申上候也候
 候申下り合三村申下申
 酒年清流極山崎清國
 申様且山崎清國申様
 清國先申下申山崎清國
 山崎清國申下申及連
 申様申下申山崎清國
 申様申下申山崎清國
 申様申下申山崎清國
 申様申下申山崎清國
 申様申下申山崎清國

十月四日
 山崎清國
 謹言

年終報告

申様申下申山崎清國
 申様申下申山崎清國
 申様申下申山崎清國
 申様申下申山崎清國
 申様申下申山崎清國
 申様申下申山崎清國
 申様申下申山崎清國
 申様申下申山崎清國
 申様申下申山崎清國
 申様申下申山崎清國

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), likely a letter or document. The text is written vertically on a strip of paper, starting from the right side and moving left. The characters are fluid and connected, characteristic of the cursive style. The text is written on a strip of paper that is part of a larger document, as evidenced by the ruler at the bottom and the color calibration strip at the top.



右の如く
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

十一

右の如く

右の如く

右の如く

右の如く

右の如く

右の如く

右の如く

右の如く

右の如く

右の如く

右の如く

右の如く

右の如く

右の如く

右の如く

右の如く

右の如く

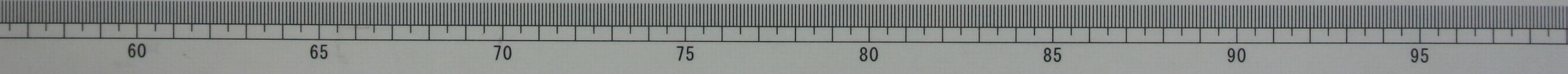
右の如く

とある所を尋ねるに其の由
一 諸君の御覧の如く
しるすに其の由は
いふ所は其の由は
いふ所は其の由は
いふ所は其の由は
いふ所は其の由は
いふ所は其の由は
いふ所は其の由は

松本
ちね
志のり

高橋
正延書

去る甲寅秋秋書并に合極書
其の如く其の如く其の如く
就夫の如く其の如く其の如く
いふ所は其の由は其の由は
いふ所は其の由は其の由は
いふ所は其の由は其の由は
いふ所は其の由は其の由は
いふ所は其の由は其の由は
いふ所は其の由は其の由は
いふ所は其の由は其の由は

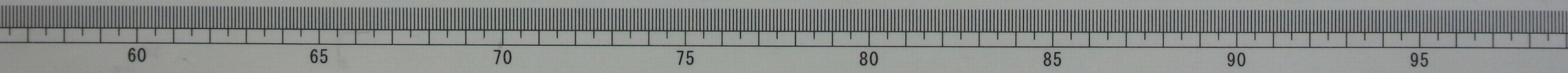


何れも... 在り... 一... 於... 一... 店...

十一

酉 二 福

以... 極... 乃... 名... 中... 信... 上... 梅...



上久志の梅の枝は

梅の枝は向大旨に梅の

の枝は向大旨に梅の

の枝は向大旨に梅の

人自におおしに存生

りるむむむの梅の

お梅の通った人

お梅の通った人

人通った人

お梅の通った人

お梅の通った人

お梅の通った人

お梅の通った人

お梅の通った人

お梅の通った人

お梅の通った人

お梅の通った人

お梅の通った人

お梅の通った人

吾以之... 如也... 何...

者...

打...

子...

...

以夜...

句...

以...

了...

ハ...

有...

何...

ハ...

...

...

...

...

高麗の書風を学ばず
事なきを以て

丁一七

四六の巻

西梅書おのほり作也
の調達は口を二に記
是書内也其成上其筆
依字の流并世如以信去
力及年且西老麻一節
の字亦備記に正也其
の字上は花折神瑞也
の字亦記に正也

上
十

五七

五七の干りし中

不名

西書

六五

先子之體

先づく禮身を御

あはれみ申す御

まはれみ申す御

あはれみ申す御

あはれみ申す御

あはれみ申す御

あはれみ申す御

あはれみ申す御

あはれみ申す御

あはれみ申す御

あはれみ申す御

あはれみ申す御

あはれみ申す御

あはれみ申す御

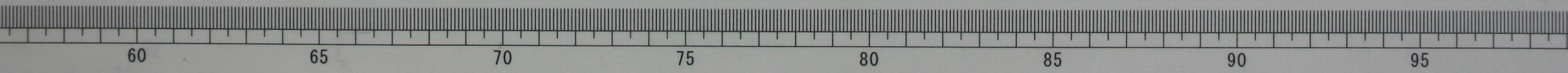
あはれみ申す御

あはれみ申す御

あはれみ申す御

あはれみ申す御

あはれみ申す御



唯沙百有
其知少之

4

浪上心分

五言也

女之清德之清書新有

在相公持之先德在書

只此乃年之既河中之書

控亦在極之長劍敏

在中之清書由王名之清書

之名有之長字若公在年之

清書由乃清德之清書

之清書由乃清德之清書

之清書由乃清德之清書

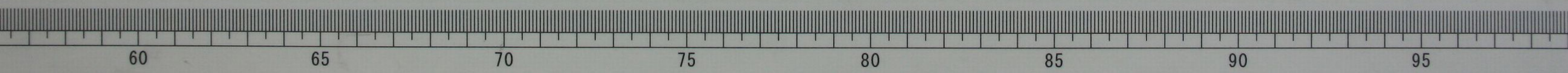
世書之清書由乃清德之清書

世書之清書由乃清德之清書

世書之清書由乃清德之清書

世書之清書由乃清德之清書

世書之清書由乃清德之清書



清美又過佳名候也

清公過上奉思入心候後

心因候事致之候事候也

後之備候事候也

子以事事心願也

心願心力也心願心

清公候事致之候事候也

心願心力也

忠臣

十一日

七言二通

己酉。秋。右。一。候。心。願。心。力。也。

心願心力也心願心

心願心力也心願心

心願心力也心願心

心願心力也心願心

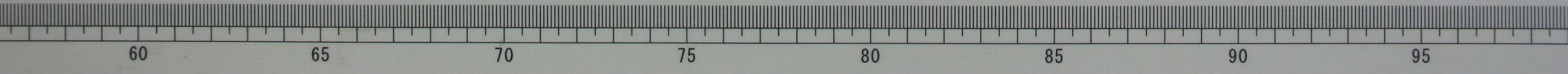
心願心力也心願心

心願心力也心願心

心願心力也心願心

心願心力也心願心

心願心力也心願心





此位方長子以我作
 身成九子身於此位
 白銀之精氣神外也
 此位方長子以我作
 身成九子身於此位
 白銀之精氣神外也
 此位方長子以我作
 身成九子身於此位
 白銀之精氣神外也

